

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

- 馬淵川の河岸にはヤナギ類やオニグルミを中心とした河畔林が形成され、自然河岸にはカワセミが生息しているほか、チゴハヤブサやチョウゲンボウといったワシタカ類も飛来している。また、川と海を行き来するサケやアユ、ワカサギなどのほか、重要種に指定されるウツセミカジカやタナゴなど多様な魚類が確認されるなど優れた自然環境を有している。
- 馬淵川に生息する生態系の維持・保全を図るため、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

- **自然環境の保全・復元などの自然再生**
 - ・透過型堰堤による溪流環境の保全
- **生物の多様な生息・生育環境の創出による生態系ネットワークの形成**
 - ・魚道整備や排水路への脱出スロープ設置による連続性の確保
- **健全なる水循環系の回復**
 - ・森林整備による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持
- **治水対策における多自然川づくり**
 - ・生物の多様な生息環境の保全
- **自然環境が有する多様な機能活用の取り組み**
 - ・小学校などにおける河川環境学習
 - ・住民参加による河川愛護活動
 - ・公民連携による植栽活動
- **流域治水に資する水田、ため池等の保全**
 - ・生物の多様な生息環境の保全（水田貯留）

- ・ 動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
- ・ 水質の保全
- ・ 良好な景観の保全
- ・ 地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



馬淵川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

- 馬淵川では、上下流、本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進。
 - 【短期】戦後最大洪水と同規模の洪水に対して家屋浸水を防止するため、水位低下を目的とした河道掘削や堤防整備を実施するとともに、住民の避難行動を促す河川情報の充実を図る。
 - 【中期～】馬淵川上・中流域において浸水被害を防止するための河道掘削や堤防整備を継続して実施するとともに、気候変動を踏まえた更なる対策を推進して流域全体の安全度向上を図る。また、下水道の排水
 - 【中長期】施設整備による内水被害軽減、土砂災害を未然に防止する砂防堰堤等の整備や安全なまちづくりのための土地利用規制・誘導の推進を図るとともに、講習会等によるマイ・タイムラインの普及促進、要配慮者利用施設の避難確保計画作成等により、改めて地域住民の防災意識の啓発を図るとともに、より確実な避難体制の構築を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■■■■ :対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削・堤防整備等（八戸市街地の家屋浸水を防止）	青森河川国道事務所	国管理区間	現行河川整備計画事業完了（青森河川国道事務所）	
	気候変動を踏まえた更なる対策を推進	青森河川国道事務所		気候変動を踏まえた更なる対策を推進	国管理区間
	河道掘削・堤防整備等（馬淵川中、上流域の家屋浸水を防止）	青森県、岩手県	馬淵川中流・熊原川・浅水川、馬淵川上流・安比川		
	河道掘削・堤防整備等（沿川の家屋浸水を防止）	八戸市・二戸市・八幡平市	準用河川		
	雨水排水路の整備、施設の耐水化	八戸市・二戸市 等	雨水排水路の整備（二戸市）		
	砂防堰堤、急傾斜地崩壊防止施設の整備	青森県、岩手県	砂防堰堤等の整備（青森県、岩手県）		
	既存ダムにおける事前放流等の実施・体制構築	国・県			
	水田貯留（支援含む）	東北農政局・県、流域市町村	※実施に向けて検討する取組		
	森林整備、治山対策	東北森林管理局・青森県 岩手県、森林整備センター			
被害対象を減少させるための対策	災害リスクを考慮した立地適正化計画の作成	八戸市・二戸市	立地適正化計画の策定（二戸市）	立地適正化計画の見直し（八戸市）	住居や公共公益施設の移転誘導（二戸市）
	道路高台等への避難場所の整備・確保	青森河川国道事務所・南部町		緊急避難路等の整備（青森河川国道事務所、南部町）	
	排水ポンプ車による内水排除作業の実施	八戸市	排水ポンプ車配備（八戸市）		
	町道の嵩上げ整備	南部町	道路被害の防止と輸送道路の確保（南部町）		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	メディア連携による防災情報の提供	二戸市	防災ラジオやスマホ（SNS）を活用した防災情報の提供（二戸市）		
	避難場所や経路に関する情報の周知	青森県、岩手県 流域市町村	ため池ハザードマップの作成・周知（八戸市）	要配慮者利用施設の避難確保計画作成	
	住民の防災意識向上のための取り組み	青森県、岩手県 青森地方気象台、流域市町村	マイタイムラインの普及促進		
	効率的な水防活動の実施及び水防体制の強化	青森県、岩手県 流域市町村	役場庁舎の高台移転（南部町）		
	防災行政無線の改良	流域市町村	防災行政無線のデジタル化更新		
	グリーンインフラの取組	透過型堰堤による深流環境の保全	岩手県	透過型砂防堰堤の整備（岩手県）	
魚道整備や排水路への脱出スロープ設置による連続性の確保		青森県	魚道整備・排水路への脱出スロープ設置（青森県）		
森林整備による生物の生育環境の保全と水源涵養機能の維持		東北森林管理局・青森県 岩手県、森林整備センター	持続的な森林の保全維持を目的とした植樹活動（青森県）	森林整備事業・治山事業	
生物の多様な生息環境の保全		青森河川国道事務所・青森県 岩手県、八戸市	多自然川づくり		
小学校などにおける河川環境学習		青森河川国道事務所・二戸市 八幡平市			
住民参加による河川愛護活動		三戸町・二戸市	川まつり事業（三戸町）、景勝地（馬山峡）等の景観の保全（二戸市）		
公民連携による植栽活動		二戸市	漆林の整備・管理・保全（二戸市）		
生物の多様な生息環境の保全（水田貯留）		東北農政局・県、流域市町村	※実施に向けて検討する取組		

【事業費（R2年度以降の残事業費）】

- 河川対策
全体事業費 約110億円 ※1
対策内容 河道掘削、堤防整備 等
- 下水道対策
全体事業費 約10億円 ※2
対策内容 雨水排水網の整備 等

※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
※2：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

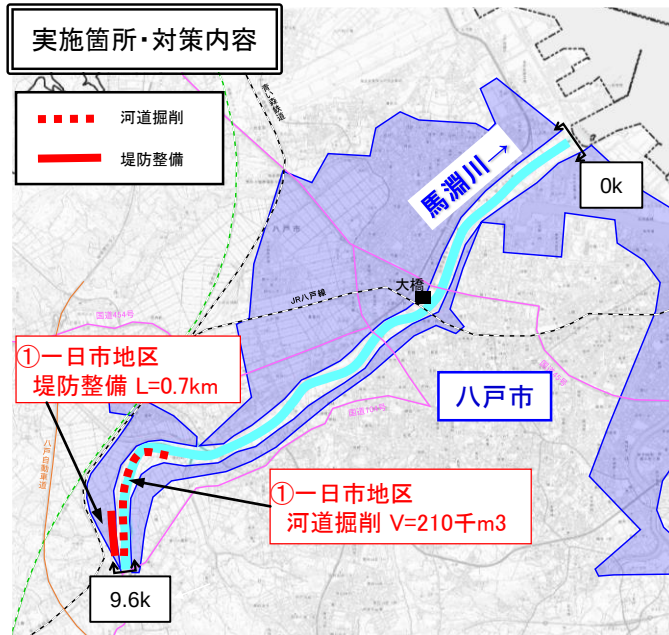
馬淵川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

進捗と効果
(R4.3版)

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

○一日市地区の河道掘削及び堤防整備事業がR7に完了することで、戦後最大洪水である昭和22年8月洪水と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止することが可能となる。

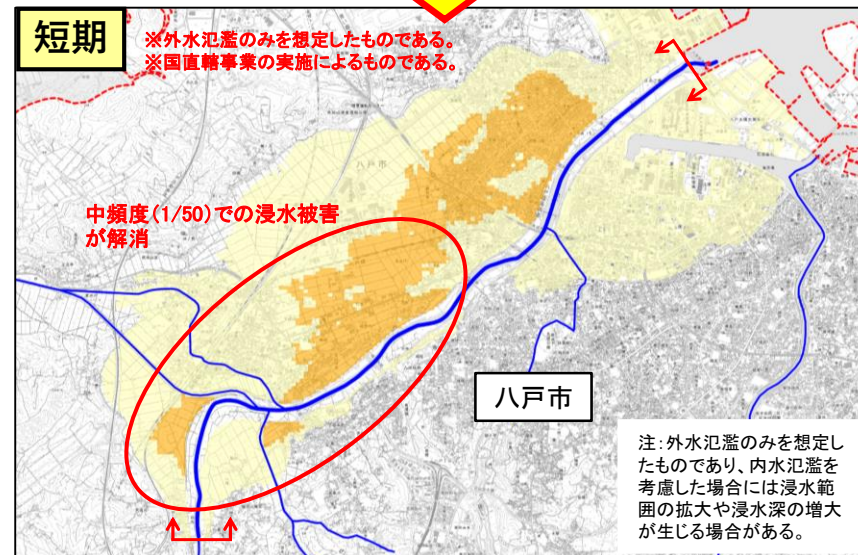
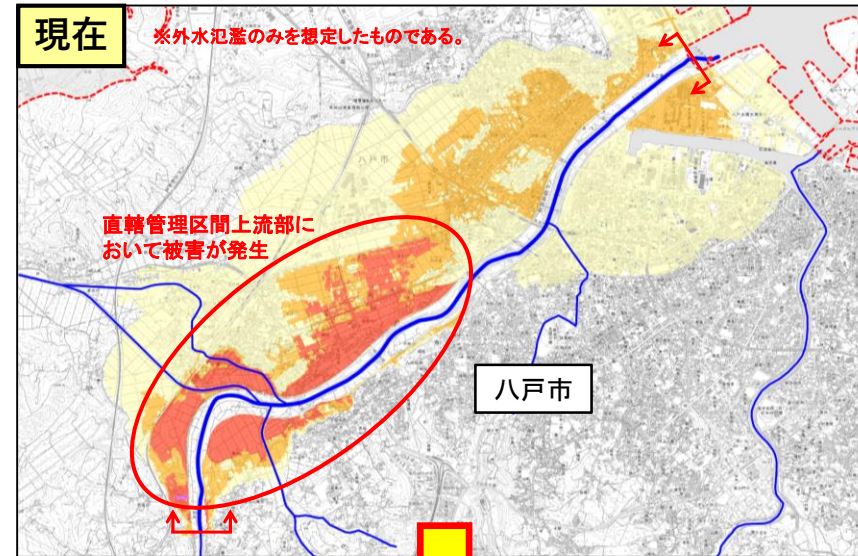
短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約93%→100%



凡例
5か年加速化メニュー: 赤字

区分	対策内容	区間	工程
			短期 (R2～R7年)
関連事業			R3
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削 82%→100%	①一日市地区	100%
	堤防整備 91%→100%	①一日市地区	91% 100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



【短期整備完了時の進捗】
①一日市地区 河道掘削 82%→100%
①一日市地区 堤防整備 91%→100%

凡例

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 低頻度(1/100)
- 想定最大規模

※浸水範囲は、今後の調査・検討や対策内容等により変更となる場合がある。

馬淵川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～豊かな自然を抱えるふるさとを水害から守る青森と岩手が一体となった治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：100%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



4市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



0施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 8箇所

（令和4年度実施分）

砂防関連施設の
完成箇所 2施設

（令和4年度完成分）

※施工中1施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



1市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 5河川

（令和4年9月末時点）

内水浸水想定
区域 0団体

（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 247施設

土砂 41施設

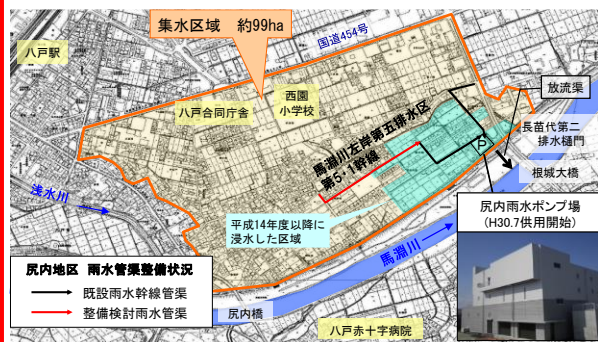
（令和4年9月末時点）

個別避難計画 7市町村

（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

下水道雨水幹線の整備



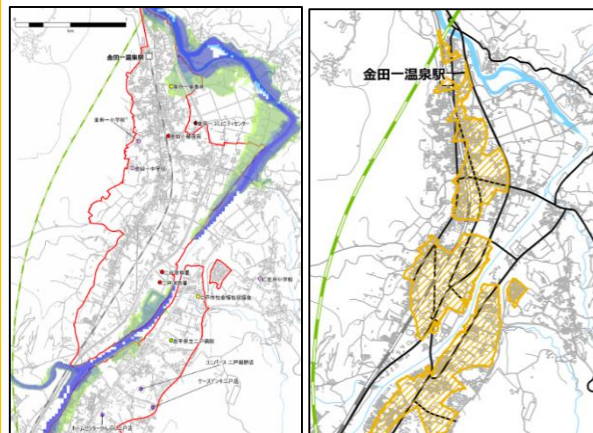
・下水道雨水幹線を整備し、過去に発生した大雨による浸水被害地区の再度災害防止を図る。

堤内地の雨水を排水するため、計画的に雨水排水ポンプ場の整備を行っている。

（青森県八戸市）

被害対象を減少させるための対策

災害リスクを考慮した住居等の移転誘導



浸水想定区域(L2)の範囲

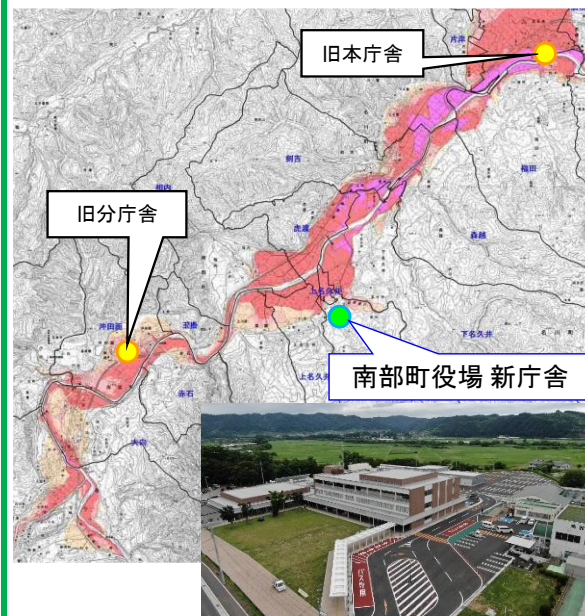
居住誘導区域

・災害リスクの抽出・分析を行い、想定最大規模の浸水想定区域や土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域を除外した居住誘導区域・都市機能誘導区域を設定して、令和3年3月に立地適正化計画を策定・公表。今後は、災害リスクの高い区域にある住居や公共公益施設等の移転誘導を進める。

（岩手県二戸市）

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

役場庁舎の高台移転



・馬淵川の洪水浸水想定区域内に立地していた旧本庁舎及び旧分庁舎を高台へ統合移転し、防災機能強化を図った。

（青森県南部町）